

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農村体験受入れ事業
事業主体 (連絡先)	信州縄文の里茅野 (090-1867-8346)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	798,600円 (うち支援金: 535,000円)

事業内容

農村体験受け入れ事業は、都会の学校(主に中学校)が茅野市方面に体験旅行に来た時、学生と農家の方が一日を過ごす交流の場を提供する事業であり、「ほっとステイ」と称している。

今回の事業費はプロモーションビデオの作成を目的とした。従来の営業は都会の旅行会社を訪問し、パンフレットによる説明を行ってきたが、10数分にまとめたビデオがあると非常にわかりやすくなる。また、旅行会社が新たに学校に説明するときにも役立つ。

受入内容は農作業が中心になり、季節によって内容が異なるので、ビデオは春、夏、秋に分けたもの、スタッフの動きをまとめたものと統合版の5つを作製した。



【千葉県の中学校：田植えの風景】

【目標・ねらい】

- ① 営業活動での活用
- ② 受入農家の新規開拓
- ③ 受入の質の向上
- ④ 活動紹介等イベントでの活用

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

農村体験受け入れ事業(ほっとステイ)は、H31年で10年目を迎える。最近の受け入れ規模は、学校数20校前後、生徒数約3,000名である。事業そのものは地域観光への寄与、農村の活性化、情操教育などの効果を有していると考えているが、今回のビデオ作製により、営業効果による事業の拡大、新規受け入れ農家の開拓、受入農家の質的向上などの活動が、効率よく展開できると考えている。転勤や異動の多い旅行会社にビデオを渡すことで営業効果が増加し、新規の受入農家の開拓ではビデオによりわかりやすい説明が可能になり、既存の受入家庭では他の受入農家の状況を把握でき質の向上に繋がる。

※自己評価【A】

【理由】

評価結果はビデオ配布を含めた今後の活動に依存するが、全5時間を超える1次編集版を各15分以内に濃縮したビデオは秀逸。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

先ずビデオの複製が必要になる。この作業は各ビデオは15分足らずであるが、5本あり1セットでは1時間を超える。スタッフ作業によるビデオ複製は1セット1時間ほどかかるため、全農家への配布には1年を要する。旅行会社や学校への配布は、受入時に行うのと、シーズンオフ時のキャラバンの時に活用したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある